

授業科目 家族看護学

【担当教員名】		対象学年	2年	対象学科	看護学科
岩田みどり		開講時期	後期	必修・選択	選択
		単位数	2単位	時間数	30時間
【一般目標：G10】 本科目では、家族看護学の主な理論を理解し、発達課題や家族関係を分析する上で必要となるアセスメントの能力を修得する。また、代表的な事例を用いて、家族の問題を明確化する家族アセスメントの過程を理解し、家族を支援する看護師に必要な能力について考察する。					
【行動目標：SBO】 1) 現代社会の家族の状況や、家族看護学の経緯について説明できる。 2) 家族看護学に活用されている諸理論について説明できる。 3) 家族アセスメント・モデルの概要について説明できる。 4) 家族看護の具体的事例から家族アセスメントの過程を具体的に調べる。 5) 家族看護理論を踏まえた家族アセスメントや看護師の役割について考察する。					
回数	授業計画又は学習の主題			SBO 番号	
1回目	1) 家族看護学の概要、現代社会の家族の状況や、家族看護学の経緯について説明する。			1	講義
2回目	2) 家族看護学に活用されている諸理論、家族の発達段階について説明する。			2	講義
3回目 4回目	3) 家族アセスメント・モデルについて説明する。また、事例を用いてジェノグラム・エコマップを具体的に記述する。			3	講義・演習
5回目	4) 子どもの具体的事例（入院中の子どもと家族）から家族看護学を説明する。			4	講義
6回目 ～ 9回目	家族周期別の事例から家族看護学を説明する。①出産期の家族、②難病の患者を持つ家族、③高齢者と家族、④精神的問題を持つ患者の家族			4・5	オムニバス(塚本・渋谷・梨本・金谷)
10回目～ 15回目	5) 家族問題10テーマから、グループでひとつの具体的事例を選び事例を作成し、家族のアセスメントと、必要な援助について考察する。また、ロールプレイによる発表から複数の家族問題を理解する。			4・5	グループワーク・発表
【使用図書】		<書名> <著者名> <発行所> <発行年・価格・その他>			
教科書 (必ず購入する書籍)		家族看護学第三版(2006)、鈴木和子他、看護協会出版会、3,200円			
参考書		講義の中で紹介する。			
その他の資料					
【評価方法】 筆記テスト50%＋グループ課題レポート40%＋出席10%		【履修上の留意点】 初回の講義で説明する。			